

2022年3月17日

討論

福島かずえ

福島かずえです。日本共産党県会議員団を代表して当局から提案された議案79件中、議第一号、第十二号、第十三号、第十五号、第十七号、第七十三号、第七十四号、第七十六号の8件に反対し、討論いたします。

はじめに、おとといの福島県沖地震でお亡くなりになられた方々へのお悔やみと被災された皆様へお見舞いを申し上げます。福島第一原発2号機では、7時間半にわたり使用済み燃料プールの冷却が停止し、女川原発1号機でも1時間の停止が報道されています。地震国日本での原発の危険性を改めて痛感しました。

今議会は、2年に及ぶコロナ禍の第6波、さなかで開かれました。東日本大震災、福島第一原発事故から、十一年経ちました。国連憲章、国際法を踏みにじって、ロシアがウクライナを侵略し、原発施設を砲撃、一部が破壊される事態も起きています。平和と国際秩序を乱す、この侵略行為を断固糾弾し、国際社会がロシアのウクライナ侵略反対の一点で団結し、平和的手段で、侵略をやめさせることを心から願うものです。

県民の暮らしの困難と不安、地域経済の疲弊は、こうしたなかで、日増しに大きくなるばかりです。

県が、昨年十一月から十二月に行った県民意識調査によると、「震災復興計画」に基づく取り組みのなかで「雇用の維持・確保」と、「持続可能な社会と環境保全の実現」が「不満群」の一位と二位でした。「新・宮城の将来ビジョン」に基づく政策では「子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる」と、「社会を生き、未来を切りひらく力をはぐくむ教育環境をつくる」が「不満群」の一位と二位でした。昨年、県内の災害公営住宅では三十五人が「孤独死」しており、これまでの累計で223人になりました。

こうした県民の「不満」や被災者の厳しい現実に対応する施策の充実が切実に求められています。

第一に、県民の暮らしと地域経済を守るため、県民や被災者、中小、小規模事業者の願いにこたえる施策展開が必要です。

コロナ禍による米価大暴落で展望を失っている農家、農業法人への支援は十分といえず、賛成できません。特に被災地の農家は、国や県のいうままに規模を拡大し、法人化してきましたが、大きな石などが混ざった客土のために大型機械の寿命は短く、更新費用のための借金をしたところ、追い打ちをかけるような米価下落です。転作物も客土のせいで、思うように実らず、経営のプラスにはなりません。新規就農者数も東北で最低ですが、その状況を抜け出す、思い切った目標設定と施策、予算が必要です。

飲食店などは食事券の利用停止や会食の5人未満を強いられながら、「まん延防止等重点措置」は適用されず、その協力金も入らず、その経営は深刻です。飲食店はじめ、幅広い中小、小規模事業者を対象とする手厚い支援策実施が求められています。

技術を身につけ、より確かな就業、雇用に役立つ県内5か所の県立高等技術専門校を仙台に集約し、一校に統廃合するための再編整備費は反対です。

「自助を支援する」と2年度に始めた「水災補償付き火災保険等加入支援費」は、目標五千件に対して実績はわずか八百件程度だったにもかかわらず、新年度も予算計上されました。宮城県は国の被災者生活再建支援制度を補完する県独自の恒久的な制度を持っていない数少ない県の一つです。被災世帯への支援を、お金がないと入れない民間保険に委ねて自己責任にすることは問題です。県独自の生活再建支援制度の創設など公的支援の充実、「公助」にこそ力を尽くすべきです。

第二に、コロナ禍だからこそ、県民の命と健康を守る施策の充実・強化は欠かせません。お金がなくて病院にいけない、生活が苦しい、そんな声が民主医療機関連合会の災害公営住宅調査で浮き彫りです。コロナ禍は被災者にも容赦なく襲い掛かっています。

ところが、県は急性期病床削減を掲げる「地域医療構想」をそのままに、病床機能や病院の再編・統合を押し進め、四病院の統合・合築「方針」を既成事実化しようとしています。さらに、栗原及び登米保健所の支所化も四月から強行します。コロナ禍での医療・保健の切り捨ては許せません。よって、仙台医療圏地域医療構想推進費など関連する予算に反対します。新変異株「デルタクロン」の感染者が世界各国で発生していると報道されています。高齢者施設や医療機関、学校、保育所、福祉施設なども対象にした検査の抜本的拡充で、コロナ拡大を防ぐ手立てを求めます。

第三に、「子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する」施策にもっと予算をかけるべきです。

大震災や新型コロナ感染症拡大によって、一人ひとりの児童生徒にきめ細かに向き合うことがいっそう教職員に求められています。現場から繰り返し要求されている県独自の教職員定数増と少人数学級に踏み出す姿勢が、新年度も一歩も見られず、賛成できません。村井知事が本気で「社会全体で支える子ども・子育て支援」を実践するというなら、子ども医療費助成制度の対象年齢拡大と所得制限の撤廃、母子父子家庭医療費助成制度の現物支給と自己負担廃止は優先施策です。

第四に、一方で富県戦略、創造的復興の名で、特定の大企業を応援する事業が優先されています。

そのひとつが広域防災拠点事業です。新年度予算の6億9千万円を加えると、JR貨物への補償費は総額108億円にもなります。これも含めて、総事業費324億円のうち、68%にあたる220億円が執行されることになります。それにも関わらず、岩切ターミナル駅の詳細設計はまだ出来上がらず、広域防災拠点はいつから供用開始できるかも定かでないという情けない現状です。広域防災拠点として、現在、暫定使用しているグランディ21にしていれば、この莫大な費用も11年という長い年月もかけずに整備できたことを指摘して、この予算に反対です。

「カーボンニュートラルポート」は、政府の「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」の要と位置付けられ、仙台塩釜港に化石燃料由来の水素と燃料アンモニア、及びバイオマス発電用チップ等の貯留施設、受け入れ基地を整備することに主眼があります。その形成計画策定費は、化石燃料、石炭火力発電所の延命につながり、結果としてCO2削減を先送りするもので賛成できません。

また、昨年の国内販売台数を見ても電気自動車（EV）2万2千台に対し、燃料電池車（FCV）はわずか2千台でした。次世代エコカーの主役争いは、すでに決着済みです。知事肝いりの「水素エネルギー活用推進ビジョン」にこだわって、FCV普及にしがみついている予算に反対です。

航空路線誘致促進事業も特定の航空会社に最大三〇〇万円を助成するもので、賛成できません。

新年度に推進計画がつけられる市町村の水道や下水道事業の「広域化」は、上からの押しつけで、水道事業「民営化」と一体で進められています。ダムから各家庭の蛇口、トイレまで、その仕事をSPCが独占できる仕組みがつけられようとしています。公の仕事によって特定の企業グループが独占的に利益を上げることが許されません。

第五に、県民への情報公開と説明責任が不十分なまま始まる「みやぎ型管理運営方式」は賛成できません。

多くの県民や市町村がよく理解できないうちに、4月から「みやぎ型管理運営方式」という名で、上水、下水、工業用水九事業のコンセッション型民営化が始まります。 3

求められていた県民説明会も、予定していた関係市町村担当者会議も県は行わず、説明責任をはたさないままのスタートとなります。議会にも、事業計画書は部分的にしか明らかにされていません。更新費用や改築計画の妥当性を検証するためにかかせない健全度評価計画書は議会だけでなく、経営審査委員会にも提出されていませんでした。経営審査委員会が事業計画の「適正性」をどのように審査し、「問題はない」という結論を出したのか、議事録をみても不明です。経営審査委員会のあり方が問われています。

また、事業引き継ぎ期間のなかで、新OM会社の技術水準がこれまでの指定管理会社の水準に及ばない事実も明らかになり、安全安心な事業ができるのか、不安はいっそう大きくなりました。県民や市町村の疑問と心配を置き去りにして始まる「みやぎ型管理運営方式」に反対します。

補正予算には、メタウォーターやヴェオリア、日水コン、オリックス、日立製作所など一〇社によってつくられたSPC（特定目的会社）からの二〇年間の運営権対価（運営権売却代金）一〇億円が収入として計上されており、認められません。

第六に、個人情報保護の観点から、マイナンバーカードの押し付けはやめるべきです。

「社会保障・番号制度推進費」は、各種社会福祉業務とマイナンバーをつないできました。マイナンバーは、社会福祉業務や預金口座、保険証などの各種情報とつなげばつなぐほど漏洩時のリスクが高くなります。更に新年度は、国の号令の下、マイナンバーカード

普及率100%を目指すとしていますが、カード取得を国民に強制してはいけません。

以上の理由により、議第一号、第十二号、第十三号、第十五号、第七十三号、第七十四号、第七十六号会計予算に反対です。

最後に、議第十七号議案「職員定数条例の一部改正条例」は、学校の教職員定数を学級数の変動に伴い、全体で四十七人削減するものです。今、学校では教師の多忙化や体調不良による休職者が多いことが問題となっています。三十五人以下学級を実施している仙台市と他の市町村との間で格差が生じており、県全体での少人数学級の実現が求められています。

「社会全体で支える子ども・子育て支援」を掲げている村井知事は、県独自で教職員の定数増にこそ、力もお金も注ぐべきです。よって、児童・生徒の減少を毎年、機械的に計算して定数削減を進めるこの条例に反対して、討論いたします。